

## 12. 対外的技術協力

### 12.1 連携大学院

連携大学院とは、大学が学外の高度な研究水準を持つ国公立・民間研究所の人的資源、設備を活用して大学院教育を行う制度である。当所は平成13年度に東京都立科学技術大学との間で教育研究協力に関する協定書を交わし、当所の研究員が客員教授として大学院生の研究指導を行っている。16年度は以下の通り実施した。

客員教授：製品技術部資源環境技術グループ主任研究員 野々村 誠

平成16年度の内容

大学院修士課程講義 「水質工学特論( )」 14回

大学院生2名の研究指導 有害大気汚染物質の動態とその解明に関する研究

### 12.2 対外的技術協力

大学の非常勤講師として、下記のとおり研究員を派遣した。

非常勤講師名	大学名
伊瀬 洋昭	東京工業大学
藤田 茂	女子美術大学
中村 優	成城大学
池田 善光	多摩美術大学
樋口 明久	多摩美術大学

### 12.3 委員派遣等

	兼 職 先	兼 職 先 役 職 名	担当課・室・グループ	従事職員
1	(社)日本ダイカスト協会	ダイカスト用亜鉛合金委員会委員	加 工 技 術	佐藤 健二
2	(社)腐食防食協会	地下に埋設されるタンク及び付属配管の電気防食規格作成委員会委員長	技 術 試 験 室	棚木 敏幸
3	(財)素形材センター	技術調査動向委員会委員	加 工 技 術	浅見 淳一
4	(財)金属系材料研究開発センター	研究委員会委員	所 長	井上 滉
5	東京商工会議所	ものづくり推進委員会委員	所 長	井上 滉
		「勇気ある経営大賞」選考ワーキンググループ委員	副 所 長	宝月 大輔
6	中小企業金融公庫	成長新事業育成審査会委員	所 長	井上 滉
7	(財)日本規格協会	ISO/TC198 解説書編集委員会委員	放 射 線 応 用	関口 正之
8	(独)製品評価技術基盤機構	技術委員会委員	エレクトロニクス	岡野 宏
9	(社)日本電線工業会	共通試験方法部会委員	エレクトロニクス	山本 克美
10	(社)電気学会	メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会幹事補佐	エレクトロニクス	岡野 宏
		IEEJ 制度検討 WG 委員	エレクトロニクス	岡野 宏
11	(社)日本配線器具工業会	IEC/TC23 専門委員会・SC23 委員会委員	エレクトロニクス	栗原 秀樹
12	(独)医薬品医療機器総合機構	専門委員	放 射 線 応 用	細淵 和成
13	(財)建材試験センター	標準化調査委員会委員	放 射 線 応 用	白子 定治
14	(社)軽金属溶接構造協会	非破壊検査委員会委員	技 術 試 験 室	高田 茂

	兼 職 先	兼 職 先 役 職 名	担当課・室・グループ	従事職員
15	(社)粉体粉末冶金協会	焼結機械部品委員会委員	加 工 技 術	浅見 淳一
16	(社)照明学会	赤外放射環境評価に関する研究調査委員会	光 音 計 測 技 術	中島 敏晴
17	(財)日本適合性認定協会	医療電気機器安全技術分科会委員	エレクトロニクス	岡野 宏
18	危険物保安技術協会	危険物関連設備等の性能評価委員会委員	加 工 技 術	渡部友太郎
19	(社)日本アイソトープ協会	放射線防護機器専門委員会	駒 沢 分 室	武藤 利雄
20	(社)日本電気協会	電気用品調査委員会委員	エレクトロニクス	天早 隆志
		誘導灯審査委員会委員	光 音 計 測 技 術	山本 哲雄
21	(社)繊維学会	企画委員	資 源 環 境 科 学	吉野 学
22	(社)産業環境管理協会	JIS 原案作成委員会委員	資 源 環 境 科 学	小山 秀美
23	(財)伝統的工芸品産業振興協会	伝統工芸土産地委員会委員	八 王 子 分 室	中島 茂
			生 活 科 学	栗田 征彦
24	(社)日本溶接協会	分析委員会委員	材 料 技 術	上本 道久
25	日本原子力研究所	原研施設利用協議会委員	放 射 線 応 用	谷崎 良之
26	東京都商工会連合会	産学公連携推進研究会委員	産 学 公 連 携 室	伊瀬 洋昭
27	(社)日本試薬協会	JIS 原案作成委員会委員	資 源 環 境 科 学	野々村 誠
28	(社)日本非破壊検査協会	査定委員会委員	企 画 調 整 課	伊藤 清
		JIS 原案作成委員会委員	企 画 調 整 課	伊藤 清
29	(財)古紙再生促進センター	古紙利用新規用途開拓調査委員会委員	製 品 科 学	島田 勝広
30	文部科学省	大臣表彰審査委員会委員	所 長	井上 滉
31	(社)電気情報技術産業協会	IEC/SC62A 国内委員会委員	エレクトロニクス	岡野 宏
		JIS 原案作成委員会委員	エレクトロニクス	岡野 宏
32	八王子市	先端技術センター運営委員	所 長	井上 滉
33	(財)放射線利用振興協会	放射線プロセスシンポジウム実行委員会委員	駒 沢 分 室	武藤 利雄
			放 射 線 応 用	関口 正之

## 12.4 研修生受け入れ

大学等から派遣された学生を一定期間受け入れ、当所の実務を通じ、専門技術を習得させるとともに、当所の技術の普及を図るものである。

### 平成 16 年度研修生受け入れ状況

受け入れ相手先	受 入 学生数	指 導 技 術 グ ル ー プ 名	指導担当者	受 入 期 間
東京電機大学工学部機械工学科	5	加 工 技 術	片岡 征二	H16/ 4/ 7 ~ H17/ 3/15
千葉工業大学工学部金属工学科	2	加 工 技 術	佐藤 健二	H16/ 4/ 1 ~ H17/ 3/31
芝浦工業大学工学部応用化学科	1	材 料 技 術	上部 隆男	H16/ 5/ 6 ~ H17/ 3/31
芝浦工業大学工学部機械工学第二科	1	加 工 技 術	玉置 賢次	H16/ 5/25 ~ H17/ 2/28
芝浦工業大学工学研究科 材料工学専攻	6	加 工 技 術	森河 和雄	H16/ 5/28 ~ H17/ 3/31
			浅見 淳一	
			内田 聡	

受け入れ相手先	受入 学生数	指 導 技 術 グ ル ー プ 名	指導担当者	受 入 期 間
芝浦工業大学工学部材料工学科	5	加 工 技 術	浅見 淳一	H16/ 5/28 ~H17/ 3/31
			森河 和雄	
			柳 捷凡	
			青沼 昌幸	
			内田 聡	
日本大学大学院理工学研究科 電子工学専攻	1	情 報 科 学	坂巻佳壽美	H16/ 6/ 3 ~H17/ 3/31
東京農工大学大学院農学教育部	1	製 品 科 学	島田 勝弘	H16/ 6/ 8 ~H17/ 3/24
東京電機大学大学院工学研究科 精密機械専攻	1	加 工 技 術	一色 洋二	H16/ 6/14 ~H17/ 3/31
東京工芸大学工学部画像工学科	1	製 品 科 学	伊東 洋一	H16/ 7/ 5 ~H17/ 3/31
東京都立科学技術大学工学部 システム基礎工学専攻	1	情 報 科 学	武田 有志	H16/ 7/ 5 ~H17/ 3/31
日本大学生産工学部応用分子化学科	2	材 料 技 術	清水 研一	H16/ 8/ 2 ~H17/ 8/17
東京都立保健科学大学保健科学部 放射線学科	1	放射線応用技術	関口 正之	H16/ 8/ 1 ~H17/ 9/30
東京家政学院大学 家政学科	2	墨 田 分 室	小林 敏信	H16/ 8/23 ~H16/ 8/27
		生 活 科 学	栗田 征彦	
大妻女子大学 被服学科	2	墨 田 分 室	小林 敏信	H16/ 8/23 ~H16/ 8/27
		生 活 科 学	栗田 征彦	
実践女子大学 生活環境学科	1	墨 田 分 室	小林 敏信	H16/ 8/23 ~H16/ 8/27
		生 活 科 学	栗田 征彦	
昭和女子大学 生活環境学科	2	墨 田 分 室	小林 敏信	H16/ 8/23 ~H16/ 8/27
		生 活 科 学	栗田 征彦	
共立女子大学 被服学科	2	墨 田 分 室	小林 敏信	H16/ 8/23 ~H16/ 8/27
		生 活 科 学	栗田 征彦	
東京家政大学 服飾美術学科	2	墨 田 分 室	小林 敏信	H16/ 8/23 ~H16/ 8/27
		生 活 科 学	栗田 征彦	
文化女子大学 服装造形学科	2	墨 田 分 室	小林 敏信	H16/ 8/23 ~H16/ 8/27
		生 活 科 学	栗田 征彦	
日本女子大学 被服学科	2	墨 田 分 室	小林 敏信	H16/ 8/23 ~H16/ 8/27
		生 活 科 学	栗田 征彦	
東京都立大学大学院理学研究科 化学専攻	1	材 料 技 術	上本 道久	H16/10/ 4 ~H17/ 3/31
東京都立葛飾ろう学校	1	生 活 科 学	栗田 征彦	H16/10/12 ~H16/10/13
早稲田大学大学院理工学研究科 環境資源及材料理工学専攻	1	加 工 技 術	内田 聡	H16/12/ 1 ~H17/ 3/31

## 12.5 インターンシップ

職業体験による職業意識の向上と公設試験研究機関の業務について理解を深めてもらうことを目的にインターンシップを実施し、学生 11 名を受け入れた。

### 都庁インターンシップ(合計 2 名)

受入相手先	受入学生数	指導技術グループ名	指導担当者	受入期間
玉川大学工学部機械工学科	2	加工技術	山崎 実	H16/ 8/2 ~ H16/ 8/27
			鈴木 岳美	

### その他インターンシップ

受入相手先	受入学生数	指導技術グループ名	指導担当者	受入期間
東京都立科学技術高等学校専攻科	9	製品科学	松田 哲	H16/ 7/26 ~ H16/ 7/30
		資源環境技術	野々村 誠	

## 12.6 産学公連携コーディネート事業

機械、電子、情報、化学、繊維などの5分野で、外部専門家をコーディネータとして委嘱し、大学の持つ技術情報の調査、産学公連携に係わる相談、指導、仲介を行った。

平成 16 年度の実績は以下のとおりである。

### 相談件数

	合計	内 訳	
		来所	電話
件数	399	184	215

### 成約件数

	合計	内 訳		
		産・学	産・公	産・産
件数	22	14	6	2